

じゅうがおか

住区ニュース

Jiyugaoka
Juku
News



自由が丘住区住民会議（自由が丘1丁目～3丁目・緑が丘2丁目・八雲3丁目・中根1丁目23～25番） 令和2年3月27日発行

<https://www.jiyugaoka19.com>

自由が丘住区住民会議ホームページに各種イベントの写真が
多数掲載されています併わせてご覧下さい

2020 Spring No.157

1. 住区ニュースの知恵袋

今だからこそ覚えよう！簡易マスクの作り方

2. 環境施設見学ツアー

キャノンエコテクノパーク・明治なるほどファクトリー
成人事業部

3. 行事の報告

マスクが中々入手できない昨今、警視庁災害対策課のツイッター (@MPD_bousai) にて紹介されている簡易マスク。用意するものは、キッチンペーパー・ホチキス・輪ゴム2本だけです。

①キッチンペーパーを切れ目に沿って破り、幅1.5cmで蛇腹折りにする(写真1)

②折ったキッチンペーパーの両端に輪ゴムを当てて、ホチキスで止める(写真2・3)

③折ったキッチンペーパーを広げ、両端の輪ゴムを耳にかける(写真4)

④人によって顔の大きさが違うので、輪ゴムを止める位置で調整する

試しに作成してみました。キッチンペーパーを耳に掛ける

際に破りやすいので注意が必要ですが、思った以上にしっかり顔に当てることが出来ました。マスクの有無一つでも『安心』に違いがあります。また、どんなことにも完璧はありません。だからこそ情報に対して冷静であることが、大切なものや人を守る一番の有効な手段なのかもしれません。

広報部 福田江里子

住区ニュースの知恵袋 簡易マスクの作り方

警視庁災害対策課が考案!

簡易マスクの作り方

- 1 キッチンペーパーを切れ目に沿って破り、幅1.5cmで蛇腹折りにする
- 2 折ったキッチンペーパーの両端に輪ゴムを当てて、ホチキスで止める
- 3 折ったキッチンペーパーを広げ、両端の輪ゴムを耳にかける。
- 4 人によって顔の大きさが違うので、輪ゴムを止める位置で調整する



画像は警視庁災害対策課災害警備係(大規模災害対策)のツイッターより引用



画像は警視庁災害対策課災害警備係(大規模災害対策)のツイッターより引用

写真1



写真2



写真3



写真4



自由が丘住区住民会議 地域連絡会カラオケ大会

2月11日 宮前老人いこいの家で、自由が丘住区住民会議地域連絡会メンバーの親睦を深める為の「カラオケ大会」を開催

致しました。

同連絡会は年2回、自由が丘住区に属する各団体の代表者が集い、地域に関する情報交換や、問題点を取り上げ、その解決策を協議しています。

普段は真剣な表情で連絡会に臨むことが多いのですが、今回は、参加している各団体の更なる「絆」を深める意義あるレクリエーション!

宮前町会・緑が丘西地区自治会・

自由が丘町会・宮前会・友楽会・自由が丘住区住民会議の6団体から、それぞれ選抜された選手(歌手)2名・応援団5名が参加。大盛況のうち幕を閉じました。 総務部



西部地区スポーツ大会 自由が丘住区チーム3位入賞!



令和2年 自由が丘住区住民会議 新年会

1月28日(火曜日)、自由が丘住区住民会議の新年会が開

催され、約80の方が参加されました。又、その席上、成人事業部のリサイクルセールの上金16,000円を、目黒区社会福祉協議会 辰巳ヒロミ会長へ寄付致しました。



書き初め大会

令和2年1月7日、緑ヶ丘小学校体育館において書き初め大会が行われました。初めに皆さんの前で、書道家の石川先生がお手本を書いてくださり、気分が高まった子どもたちは一生懸命に練習した後、素晴らしい清書を書き上げていました。 青少年事業部



成人事業部 環境施設見学ツアー

成人事業部に組織変更してから初めての施設見学ツアーが2月17日(月)に行われました。今回の参加者は小学生13人・大人15人。久しぶりに京浜地区を離れ2時間近く移動するバスツアーとなりました。

旧組織の環境整備委員会から引き継いだ環境学習として、午前中は茨城県坂東市の「キャノンエコテクノパーク」を訪れました。ここではプリンターや複合機のインクカートリッジ、トナーカートリッジの種類をカメラで自動判別、機械で粉碎した後、自動で材料毎に分別、リサイクルするプラントと、使用済み複合機を製品として、あるいは部品や材料としてリユースするプラントがあります。まずは真新しいショールームで複合機のカットモデルや分解モデルの前にリユース、リサイクルの説明を受けます。次に粉碎した材料を分別する原理を再現した装置があり、小学生たちはハンドルを回して鉄、アルミニウム、ゴム、プラスチックが自動で分別される様子を体験しました。その後のプラント見学では専用通路からガラス越しに巨大な装置が動いている様子やカートリッジが流れて最後には材料として回収される様子を見ました。

ランチタイムの後は茨城県守谷市にある明治乳業の「明治なるほどファクトリー守谷」を訪れました。ここでは主にヨーグルト類を生産しています。近隣の酪農家から集められた牛乳が乳

酸菌の力でいろいろな乳製品に変わっていく工程を動画で見た後、ここでもガラス越しに工場内を見学しました。工場は作業工程毎に区分けされ、クリーン度が高いエリアに作業者が入室する際は専用の服を着用しエアシャワーを浴びなければいけません。乳製品の容器は巨大なトイレトーパーのような白いロールから繰り出されるシートに熱を加えて成型、直ぐにヨーグルトを充填していました。また見学エリア内を含む全てのトイレの出口には、除菌用アルコールを電動でスプレーする装置があり、動作させないとトイレから出られない仕組みになっているそうです。これら様々な工夫やルールで埃や雑菌の混入を防ぎ、乳製品の品質を保っていることに感心しました。

見学を終え自由が丘に戻る途中、今回の見学ツアーの感想を聞きました。使い終わったプリンターのカートリッジをここまで分別、材料としてリサイクルしていることに驚いた声、当たり前前に食べているものでも作り方を調べてみようと思う等、感じたことは多かったようです。自由が丘住区センターでは、メーカーを問わずプリンターの使用済みインクカートリッジ、トナーカートリッジを回収して、住区内の各小学校のベルマーク活動に役立てています。皆さまご協力をお願い致します。

自由が丘住区住民会議
成人事業部
部長 眞井斎壽



キャノンの大判プリンターで出力したパネルの前で集合写真



リユース・リサイクルされる複合機の部品



渦電流を使ったアルミニウム分別装置



乳酸菌の働きについて学習



牛乳を運ぶタンクローリーを背景に記念撮影

広報部員 メンバー大募集

ご興味のある方は、先ず以下のアドレスまでMailをお送り下さい。追ってご連絡致します。

jyugaoka19.koho@gmail.com

発行 自由が丘住区住民会議
目黒区自由が丘 1-24-12
編集 広報委員会
電話 (3718)1195

青少年事業部

又、令和2年度の「木曜工作ランド」の実施は未定です。再開の予定は自由が丘住区住民会議ホームページにてお知らせ致します。
*木曜工作ランドでは、お手伝い頂ける方を大募集中！詳しくは、木曜工作ランドまでお越し下さい

木曜工作ランドからお知らせ

令和2年2月より、新型コロナウイルス感染症予防のため、「木曜工作ランド」はしばらく休止しています。



ショールームで乳しぼり体験